

道路交通振動予測式作成分科会による成果報告会

主催：公益社団法人 日本騒音制御工学会 道路交通振動予測式作成分科会

【趣 旨】

本分科会は、平面道路を対象とした道路交通振動予測計算方法(INCE/J RTV-MODEL 2003)を発表後に、高架道路および盛り土・切り土を対象とした道路交通振動予測式を提案すべく、実測データの蓄積・各種の数値シミュレーションなどを実施してきた。本成果報告会は、これらの知見を整理して予測式の提案を行うものである。

高架道路の振動予測計算法は、数値解析を用いる詳細予測法(A 法)と橋脚近傍の時間依存ユニットパターンを用いる簡易予測法(B 法)の2とおりを提案する。A 法は、車両走行に伴う非定常の3次元数値解析で上部工の応答を計算するものであり、インプットデータが多く計算負荷も大きい。一方、B 法は、橋脚の振動をユニットパターンでモデル化しているため、エクセル計算で対応できるような小さな計算負荷である。振動予測のニーズは多様化しており、目的に合わせて選択できることが大切である。

【日 時】 2019年4月16日(火) 13:00~16:30

【参加費】 無料

【会 場】(株)構造計画研究所 本所新館



プログラム

時 間	演 題	報告者
13:00~13:10	趣旨説明と活動経過	志村 正幸 (建設環境研究所)
13:10~13:40	高架道路における蓄積データの説明	佐野 泰之 (愛知工業大学)
13:40~15:00	高架道路における振動予測式の提案 詳細予測法(A 法)	深田 宰史 (金沢大学) 矢部 明人 (構造計画研究所) 関口 徹 (千葉大学)
15:00~15:10	休 憩	
15:10~15:40	高架道路における振動予測式の提案 簡易予測法(B 法)	上明戸 昇 (建設環境研究所)
15:40~16:00	盛り土道路における振動予測について	佐野 泰之 (愛知工業大学)
16:00~16:30	質疑応答	進行：深田 宰史 (金沢大学)